

生きる力の育成など

平成29年度

心豊かな にしきの子 ~地域とともに笑顔あふれる学校づくり~

岩国市立錦清流小学校 PTA

1 学校地域の概要

PTA会長：鮎川 真二

学 校 長：品川 和之

児童数：69人

会員数：家庭数48 教職員数11

所 在 地：〒740-0724 山口県岩国市錦町広瀬 247

TEL 0827-72-2301

FAX 0827-72-2388

E-mail nseiryu-e@edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp



山口県岩国市の北部に位置する錦町は、広島県、島根県との県境を接し、中央を錦川及び宇佐川が貫流している。面積 210.32 km²、林野率 92%と平地が非常に少ない。県下最高峰の寂地山や羅漢山等には登山の愛好家が多く訪れ、秋は紅葉狩りの木谷峠や寂地峠など美しい自然に恵まれている。

産業では、古くから農林業の他にワサビ・コンニャクの生産や、錦川・宇佐川のアユ漁が広く知られている。本校が所在する錦町広瀬は、古代人が居住したと思われる遺物等が発見されており、近世以降は山城地方の行政・商業の中心地として栄えた。

岩国市錦町は、昭和30年広瀬町と深須、高根の2村が合併し、人口1万2千人余の旧錦町として発足した。昭和38年には、岩日線（当時JR、現在錦川清流線）が開通し、交通が便利になったものの過疎化は急速に進み、平成18年3月、岩国市及び玖珂郡町村（大畠町、和木町を除く）の1市6町1村が合併し岩国市となった。現在の錦町の人口は2,676人、岩国市全体の人口は137,448人（平成29年5月現在）である。

高齢化率は高く、高齢者の多くは農業を営み、若者の多くは町内の公共機関・企業の他に、岩国地区・周南方面へ通勤されている方もいる。

本校は、平成14年4月に広瀬小学校・広東小学校・深須小学校が統合したもので、広瀬盆地の中心を走る国道434号線沿いにあり、総合支所、広瀬幹部交番、錦中央病院及び商店街等に近く、錦中学校及び県立岩国高等学校広瀬分校とも近接しており、便利のよいところに位置している。児童の通学方法は、広瀬地区が徒歩、広東・深須地区はスクールバスとなっている。

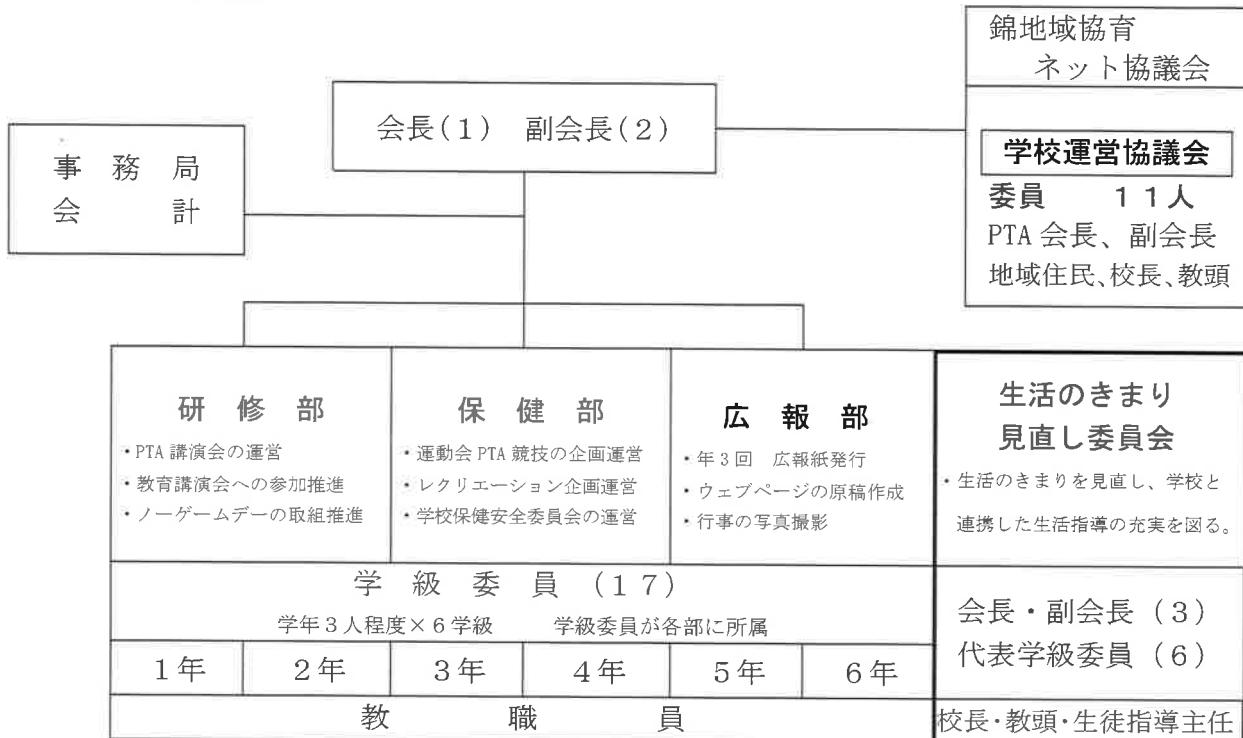
現在、錦川と木谷川を堰き止める平瀬ダムの建設により、関係道路網が整備され、本体コンクリートの打設が行われている。ダム事業の完了は平成33年度の予定。

□ 児童数(人)

(各年度の5月1日現在)

年 度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
地 区	広瀬	61	62	56	53	55	55	58	57	63	61	59
	広東	21	23	15	18	13	12	9	5	7	6	5
	深須	2	3	3	2	2	1	2	1	1	1	5
合 計		84	88	74	73	70	68	69	63	71	68	69

2 P T Aの組織図



3 研究テーマ等について

岩国市北部の農山間部にある錦町は、過疎・少子高齢化が進む中、子どもたちの生活は情報機器の発達により大きく変化した。自然に恵まれたこの地に住まいながら自然に親しむ機会や地域の人との温かいふれ合い機会などの減少は、子どもたちの心身に少なからず影響を与えているのではなかろうか。

平成28年度は、子どもたちの生活習慣を見直し、地域の人と一層深くふれ合うことにより、心豊かなにしきの子を育むことを目ざして次のような取組をし、学校支援とともに会員のPTA活動への参画意識を高めてきた。

平成28年度 研究テーマ 「学校・地域と連携して育む 心豊かなにしきの子」

研究内容 {
 ・子どもたちの生活習慣の見直し・改善の取組
 ・地域連携を推進する取組
 ・今後の課題とPTA活動の在り方
 }

今年度は、学校との連携を一層深め従来の「支援」の継続とともに、新たな学校教育へ「参画」の意識を持った取組を推進・充実させていきたい。

平成29年度 研究テーマ 「心豊かなにしきの子～地域とともに笑顔あふれる学校づくり～」

研究内容 {
 ・学校との連携と運営参画
 ・学校課題の理解
 ・今後の課題とPTA活動の在り方
 }

学校との連携と運営参画	学校課題の理解	学校支援その他の取組
<input type="checkbox"/> 生活のきまり見直し委員会 <input type="checkbox"/> 授業評価による授業改善 <input type="checkbox"/> 錦町小学校持久走大会・交流会	<input type="checkbox"/> 小規模校視察 <input type="checkbox"/> 生活習慣の改善に向けた取組	<input type="checkbox"/> 「すくルーム」の活用 <input type="checkbox"/> 餅つき支援 <input type="checkbox"/> えがおコンサート開催等

4 活動内容

(1) 学校連携と運営参画

① 学校生活のきまり見直し委員会の設置

ア 趣旨

学校生活(特に校外生活)のきまりについて、これまで「小学校に入る前は自転車に乗っていたのに、きまりで3年生になるまで乗れない」など、気になっていたきまりを学校と連携して、子どもたちの健全な成長のために見直しを図った。



5月24日：生活のきまり見直し委員会

もちろん、きまり(校則)の決定は学校がするものであるが、保護者の意見も参考にしてもらい一緒に見直しを図る機会を設けた。

イ 委員

会長、副会長2、学年代表委員6、校長、教頭、生徒指導主任

ウ 見直した内容

内 容	新しいきまり	これまでのきまり
自転車について	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車に乗るのは、保護者の許可を得てからにしましょう。 ○自転車に乗っても良い範囲などは次のように定めます。 <ul style="list-style-type: none"> 1, 2年：保護者の監督(一緒にいること)のもと、乗ってもよい。 3, 4年：原則、自分の住んでいる地区内、ただし、3年は自転車教室終了後とします。 5, 6年：校区内。ただし、広東地区の国道では自転車に乗らないようにしましょう。(従来通り) 	<ul style="list-style-type: none"> ○1, 2年生は道路で乗ってはいけません。 ○子どもたちだけでの自転車の行動範囲は自分の住んでいる地区だけにしましょう。
登下校について	<ul style="list-style-type: none"> ○7:40～7:50の間に学校へ着くようにしましょう。 ○下校の際、やむを得ず、途中で塾や習い事による場合には、事前に届けを出しましょう。基本は、一旦家に帰ってから出かけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○7:40～7:45の間に学校へ着くようにしましょう。 ○下校の途中では、友達の家や塾、習い事に寄らないようにしましょう。塾や習い事に行く場合は、一旦帰宅してからにしましょう。

② 授業評価

ア 趣旨

どの学校でも学力向上に力を入れ、教員は授業改善に努めている。授業改善に活かしてもらうため授業評価アンケートに積極的に協力している。今年度は、アンケート記入ができるように下敷きとなるバインダーを購入した。

参観日の授業や行事で参観した際にバインダーに付けた授業評価アンケート一式を玄関で受け取り、授業での子どもの活動や先生の指導について感想等を記入した。この授業評価は、保護者だけでなく学校に来られた地域の方にも活用していただいた。

イ 内容

<p style="text-align: center;">◇ 授業評価アンケート ◇ ～わかる喜び できる楽しさ 学び続ける錦清流つ子～</p> <p>* 今後の授業改善に役立てます。率直な感想をお寄せください。</p> <p>評価者 (保護者・その他 どちらかを○で囲んでください。)</p> <p>— 月 — 日 — 曜日 — 校時 — 年 教科名 —</p>				
<p>(1) 教室はきれいですか。(床のゴミ、ロッカー・棚の整頓等)</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1 とても良い 良い 良くない かなり改善の必要がある (4~1の数字に○をつけてください。以下の項目も同じです。)</p>				
<p>(2) 「めあて」がわかりやすく、児童が学習の見通しを立てやすい工夫がされていますか。</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1</p>				
<p>(3) 教師の声の大きさ、速さ、量は適切ですか。</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1</p>				
<p>(4) 板書はよくまとめられていて、わかりやすいですか。</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1</p>				
<p>(5) 児童は、思いや考えを表現できていますか。</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1</p>				
<p>(6) 「めあて」を「ふりかえる」場面がありましたか。</p> <p style="text-align: center;">4 3 2 1</p>				
<p>○その他、自由に感想をお書きください。</p>				

ウ 感想の一部

月日	曜	校時	教科	感想
5/19	金	5	社会	大仏づくりにたずさわった人の目線で考えることで、興味をひく。工夫が見られる。
5/19	金	5	国語	机の上にいらない物（えんぴつけずりなど）が多く、字が書きづらく、物をよく落としているように思う。下敷きを使い忘れているのか、半分ぐらいの子が使用していない。 5時間目だからか、ダラダラした感じがする。その中でも先生はちゃんと指導されており、さすがだと思いました。
5/19	金	5	国語	教卓上も不要なものがなく、とてもスッキリしていて良い。子どもたちの小さいなことをほめてくださる先生の姿が印象的。先生の字がとにかくキレイ 1年生の時に比べると、授業を受ける子どもたちの様子が落ち着いた。
6/ 7	水	5	理科	教卓から一番遠い席の児童の集中が、かなり途切れてしまっていました。厳しくしても良いのかもしれません。
6/ 7	水	4	算数	10人と少人数でも個差がありますね。家でのふりかえり（復習など）の大切さを痛感しました。
6/ 6	火	4	書写	書写の時間、のびのびしそぎていて、見ていて授業中？と言うほど話してたりして、びっくりしました。もう少し集中して、授業を受けてくれたらと思いました。
10/24	火	6	理科	理科室での実験で、先生がよくクラスをまとめられていて、良かったと思います。 教室が散らかっていた。物が落ちていたら拾うといいと思います。
11/16	木	5 6	道徳	子供達が自分達の意見を皆と話し合っていて、ちゃんと自分の意見を伝える事が出来るんだな、と成長を感じました。 6校時…もっとたくさんの子が自分の思った事を言えるようになればよいな、と感じた。
11/16	木	5	道徳	グループワークがあったが、司会を決めた方が良かったのではないかでしょうか？

授業評価アンケート回答数

月日	行事など	回答数
5月19日	5月参観日	67
6月6～8日	学校公開	80
6月15日	笑顔コンサート	21
7月7日	錦町民生委員児童委員協議会	42
7月12日	ラジオ体操講習会	17
10月24日	10月参観日	51
11月16日	11月参観日	36
1月23日	1月参観日	30
	合計	344



受付の様子



授業参観の様子



授業評価アンケートのお願い

③ 錦町小学校持久走大会・交流会の開催 12月2日

ア P T Aの参画

岩国市との合併前から行われていた「錦町民総参加マラソン大会」が取り止めとなり、平成26年度から宇佐川小学校と合同で小学校・PTA・学校運営協議会が中心となって持久走大会・交流会を開催するようになった。



豚汁の調理

「地域の方々との交流」また「地域連携で育むにしきの子」・「地域とともににある学校づくり」を一層推進するため、PTAが主体となって炊き出しや全体レクリエーションを行って4年目となった。

今回の改善点は、前回保護者アンケート等から次の2点に決めて取り組んだ。

○地域の方が一緒に昼食しやすいようにする。

○大人も一緒にできるレクリエーションにする。

イ 役割分担

- ・炊き出し：PTA役員と希望者会員、宇佐川小PTA、「やましろ商工会」等
- ・交通整理：「錦千守会」、「にしき安全パトロール隊」、「やましろ商工会」等
- ・レクリエーション：PTA保健部



大釜は任せておけ

ウ 炊き出し(豚汁・わかめご飯)

今年度も炊き出しを行った。事前役員会で炊き出しメニュー・準備物等を話し合い、メニューは昨年度と同じ「わかめご飯と豚汁」にすること、また、調理・作業内容も同じにすることにより、調理時間の短縮・効率化を図った。



わかめご飯調理

新しい役員に加え作業内容のわかる旧役員も積極的に協力者が増えた。宇佐川小学校のPTA全世帯も協力してくださり、お互い保護者同士の交流もしっかりと行うことができた。さらに、今年はお父さん方の参加が増えた。



豚汁どうぞ



豚汁いかがですか



わかめご飯もらっています



わかめご飯準備よし

エ 持久走大会

たくさんの地域の方がコースを走る児童に応援をくださった。コースの安全は「錦千守会」「にしき安全パトロール隊」、「やましろ商工会」、「平瀬ダムJV(共同企業体)」など地域の方々が交通整理に立ってくださいました。



交通整理員打合せ

子どもたちもたくさんの方に応援してもらい、全員が最後まであきらめず走ることができた。



デッドヒート

オ 交流会

昼食会場は体育館としているが、昨年は持久走大会終了後表彰式がグラウンドで行われ、その後児童の着替えなどの時間から、地域の方が帰宅されてしまい昼食の案内ができないことがあった。

そのため、執行部と役員、学校と協議し、今回はタイムスケジュールを見直し、表彰式を持久走が終了してすぐに体育館で行い昼食会場への案内をすることにした。

配膳については、児童をグループ分けし、事前に人数を把握することで保護者もスムーズに準備ができた。

5年生の子どもたちが総合学習の時間についてお餅を、感謝を込めて地域の方にプレゼントした。保護者自ら地域の方へ配膳し会話を交わす様子も見られた。保護者同士の連携も年々深まり、本校PTAの課題であった「地域とともに」子どもたちの幸せのためにできる活動が広がってきていているのを実感している。



保護者が後走として安全確認



交流会全体の様子



グループで食事



お餅をプレゼント



カ 全体レクリエーション

昨年度から持久走大会後のレクリエーションを保健部が企画・運営している。今年は何を行うか保護者の意見をもとに話し合いが行われた。

昨年度は、子どもたちに人気の「ハンターゲーム(大人が鬼役の鬼ごっこ)」を行い、楽しむ様子を見ることができたが、参加できる保護者が限られており、今年は全員が参加でき楽しめるものをと考え「長縄跳び大会」を行った。

各学年で話し合い、八の字跳びや「郵便屋さん」、ダブルダッチなど様々な楽しみ方を見ることができた。途中お父さん VS お母さんの対決も見られ、日頃見ることのできない必死に跳ぶ姿に、子どもたちも嬉しそうだった。



高学年:どうじゃ!



身軽さ、お見事!



引っかかったのは誰?



意外と華麗な舞!



見ている人も大笑い

「長縄跳び大会」は大成功で、PTA保健部長の「では始めてください」から「そろそろ止めてください」まで、賑やかな声と笑顔がグラウンド一杯にあふれていた。

当初の計画段階では、「長縄は低学年には難しいのではないか」という意見も出ていた。しかし、保健部の反省会では、「当日の様子を見て、どの学年も大人と保護者と子どもたちが話し合い、学年にふさわしい跳び方を見つけて楽しんでいた」「昔ながらの遊び方を子どもたちに伝えていくのもこのレクリエーションを行う意義なのだ」と、とても充足感の得られた意見を聞くことができた。

キ つなぐ

PTA活動の後に行う保護者アンケートには、多くの意見や感想が書かれている。執行部がこのアンケートに目を通し、役員会で見直しなどを行っている。このことにより保護者の意見を反映し学校行事がよりよく改善されることで、保護者のPTA活動への参画意識を高めることにつながっているのだと考える。

PTA活動に参加し保護者同士のつながりが増える。この錦町小学校持久走大会・交流会を通して、さらに子どもとのつながり・地域とのつながり・学校とのつながりと様々な「つなぐ」が増える。この貴重な場がPTA活動なのだと改めて感じた。

平成29年度錦町小学校持久走大会・交流会の反省について【保護者】

回答数41

①できた・よい(4点) ②少しきだ・まあ良い(3点) ③できなかつた・やや悪い(2点) ④全くできなかつた・悪い(1点)

No	アンケート項目	① %	② %	③ %	④ %	平均得点	H28	E比
1	○最後まで頑張りぬく心を培うとともにたくましい体力を養う。	83	17	0	0	3.8	3.9	◎
2	○宇佐川小学校の児童や地域の方、保護者の皆様との親睦を深める。	59	34	7	0	3.5	3.5	◎
3	□持久走大会について	83	17	0	0	3.8	3.8	◎
4	□交流会について (昼食:豚汁、わかめご飯)	70	28	3	0	3.7	3.8	◎
5	□交流会について (全体レク)	75	25	0	0	3.8	3.6	◎

◎…よい90%以上 △…課題あり80%未満

【ご意見・ご感想】

《持久走大会》

・午前中のみ参加しましたが、持久走で、体力もつけられるので毎年楽しみです。

《交流会》

・全般的に配膳がスムーズではなかったように感じる。
 ・昼食の配膳について、もう少し考えないといけないと思いました。時間がかかりすぎ。
 ・子どもたちの班が移動して、その場に立ちつくす方が多かった。
 →地域の方々を優先してグループ分けして先に座っていただき、そこに子どもたちの班を充てていく方が良いのではないか。
 ・一度座ってしまうと立ち上がりにくい。
 →地域の方々、保護者には配膳した方が良いのではないか。
 ・豚汁の具が少し小さすぎたように思うので、来年はもう少し大きめにしたらよいかなと思いました。
 ・豚汁の具材など家庭に呼びかけて、足りない分を貰ってはどうかな?と感じました。
 ・豚汁、ご飯を作るのが慣れてきてすばらしかった。校長先生、お菓子たくさんありがとうございました。お手伝いして良かった~。来年もいい天気でできますように。
 ・地域の方と一緒に座って食べるのもとても良いことだと思いますが、子どもたちは何を話しているのかわからない感じでした。

・長なわとびもみんなとても楽しそうで良かったです。・長なわ楽しかったです。
 ・全体レク、昨年以上に盛り上がって楽しかったです。
 ・レクのとびは楽しかったのですが、飛べない子もいたので私は見ていて去年のハンダンタのレクの方が子供が楽しく参加できていたように思います。全体で出来るレクならじんけん列車やボーリー遊び、猛獣狩りゲームなど来年度やってみていいかなと案として提案しておきます。
 ・長なわとびだと母親も参加でき、よかったです。宇佐川小保護者より、ドッヂボールがしたいという声があった(理由、あちらでは人数が少ない為行うことができないとのこと!!)
 ・初めての長なわでしたが、皆が楽しくできてよかったです。
 ・出来れば、交流会(全体レク、昼食)含めて午前中で終了する日程としてほしい。少し長い。。。集合時間は3時半でも良いのでは?

《その他》

・宇佐川小だけでなく、美川小も入れてやってもいいのかなと思いました。美川も少人数だし、錦中に来る子もいるので、今のうちに交流ができるいいのかなと思いました。
 ・準備していただいたPTA役員の皆様、先生、地域の方々ありがとうございました。
 ・元々のお知り合いの宇佐川小保護者との交流は出来ましたが、他の方となかなかお話しする機会がないので少し残念かなと思います。
 ・立ち話であったのですが、宇佐川小はドッジやサッカー等、大人気で行う遊びが出来ないので、こういう機会にやっていたければ嬉しいとの事でした。
 ・親や地域の方とのふれあいに良い機会だと思いました。
 ・子ども達の頑張る姿に成長を感じ、昼食も普段あまり話すチャンスのない子ども話を、楽しい1日となりました。
 ・準備等お忙しかったと思いました、ありがとうございました！

(2) 学校課題の理解

① 小規模校の視察研修

ア 目的

本校の児童数は年々減少しており、5年後には全校50人より少なくなる見込みである。また、現在2年生の児童数は5人で、早ければ来年度には複式学級化もあり得る現状がある。

私たち保護者にとって、複式学級化への不安は大きい。そのため、PTAで複式学級を視察し小規模校の良さや課題について理解を深めることになった。今後の会員となるひろせ保育園の保護者とも連携し、11月にPTA視察研修(柳井市立余田小学校、岩国市立由西小学校)を行った。



11月17日：由西小学校の複式授業参観



余田小学校学習発表会参観

イ 学校へ提言

- 各校の施設設備を見て、錦清流小学校にもあったら良いと思えるもの
- 他校の子どもたちの様子を見て、錦清流小学校の子どもたちが学んでいかなければいけないことは何か。

余田小学校 学習発表会	<ul style="list-style-type: none">・マイクなしで大きな声で発表していた。・1年生でもごそごそ動く児童がいない。・司会もすべて児童がいてすばらしい。・舞台上の態度がいい。・発表に使ったものをすぐに体育館の後ろに展示してあったので後でゆっくり読めた。・発表の時、聞いている児童の姿勢もいい。・教室内が明るく感じた。・どの児童ロッカーもきちんと整頓されていた。・椅子の脚にテニスボールがはめてあり、音が出なくていいなと思った。・本の展示の仕方が「読みたくなるような感じの置き方」がしてあり、あんな置き方なら本を読む子も増えそう。
由西小学校 複式授業	<ul style="list-style-type: none">・先生が別の学年の指導をしていると、子どもたちだけで協力して問題を解こうとしていて、考える力がつきそう。・先生の代わりに授業を進める係の児童がいた。・先生は教えるだけでなく導き出すという感じだった。・一人学びと共学びが使い分けられ、授業のふり返りもバッチリだった。・次の勉強のタイムスケジュールが黒板に張り出されており、最後に確認していた。・先生が黒板とホワイトボードをうまく活用していた。・教室の前後に時計があるのは、話し合いのときなど便利だなと思った。・複式になっても、少しでも人数が多い方が楽しく力もつくのではないか。「言われたことしかできない子」「言われなくても自分でできる子」。勉強が遅れるかも…というの間違います。やる子はやる、やらない子はやらないだけ・この人数だからできる授業のやり方だと思った。10人超えると難しいのではないか。・他の学年を指導中、声が気になり集中できない、質問があつてもできないのではないか。

ウ 学校

来年度の複式化については、まだ決定はされていない。県と意見交換中で、学校としては、どのように決定されても対応できるよう最善の準備を進めているとのこと。

② 子どもたちの生活習慣の見直し・改善の取組

ア 「ノーゲームデー(毎週水曜日)」の取組

平成27年度1月の学校保健安全委員会で、本校の視力1.0未満の子どもの占める割合は、県や市と比較すると大きく上回っていることが報告された。現代の情報機器の発達と地域の過疎化も関連して、子どもたちの活動内容の偏りや戸外での遊びの減少傾向があること、また、そのことが本校の子どもたちの視力低下につながっていると考え、この取組を学校と連携して始めた。

毎週水曜日の「ノーゲームデー」は、子どもたちがテレビやゲーム機から離れ、活動の場を地域へ返し、保護者も子どもに向かい家族団らんの場を設けることもねらいとして今年度も取り組んだ。

イ 学習機会の提供

平成28年度の「ノーゲームデー」の取組は、家族でゲームをするときのルールを決めたり、会話や読書、外遊びが増えたりしたもの、視力改善傾向は見られず、ゲーム依存傾向の改善も今一つであった。

11月2日:拡大学校保健安全委員会



今年度は、ゲーム依存の予防やその悪影響について理解し、望ましい生活習慣を目指して積極的に生活を改善することができる子どもを育てるため、ゲームやテレビの弊害について、子どもも親も考える機会を設けた。

11月の錦町拡大学校保健安全委員会では、「スマホ・ネット・ケータイで心や体に起きること」(講師:NPO法人子どもとメディア 古野陽一 氏)と題した講演を5、6年生も聴いた。

1月には、講演を聴けなかった会員に、その内容を校長と養護教諭が、本校学校保健安全委員会で復伝する機会を設け、情報機器と賢く付き合う必要性を周知した。



ウ 「ノーゲームデー」ポスターの募集

子どもだけでなく保護者も「ノーゲームデー」の意 1月23日学校保健安全委員会識付けをするため、昨年度に引き続き夏休みにポスターの募集を行った。

- ゲームやテレビをひかえることで、自分や家族にとって、「こんな良いことがあるよ」と訴えるもの。
 - 「水曜日は、ノーゲームデー」または「ノーゲームで、わが家はみんな 読書好き」「ノーゲーム 初めて知った ぼく天才」等の自作した標語を入れる。
- ※ 家族と一緒に話し合って決めててもよい。



ポスターの募集内容

8月22日:研修部による作品審査

2学期の始業式に先立って、ノーゲームデーポスターの優秀作品の表彰を行った。3名の最優秀作品を描いた児童に、鮎川PTA会長が賞状と副賞を授与した。作品は、「夏休み作品展」や錦町商店街の「ふるさとギャラリー」、11月の「錦ふるさとまつり生涯学習作品展」で掲示し、多くの人に紹介した。



8月31日：ポスター掲示作業



9月1日 P T A会長が表彰



9月：商店街ふるさとギャラリー展示



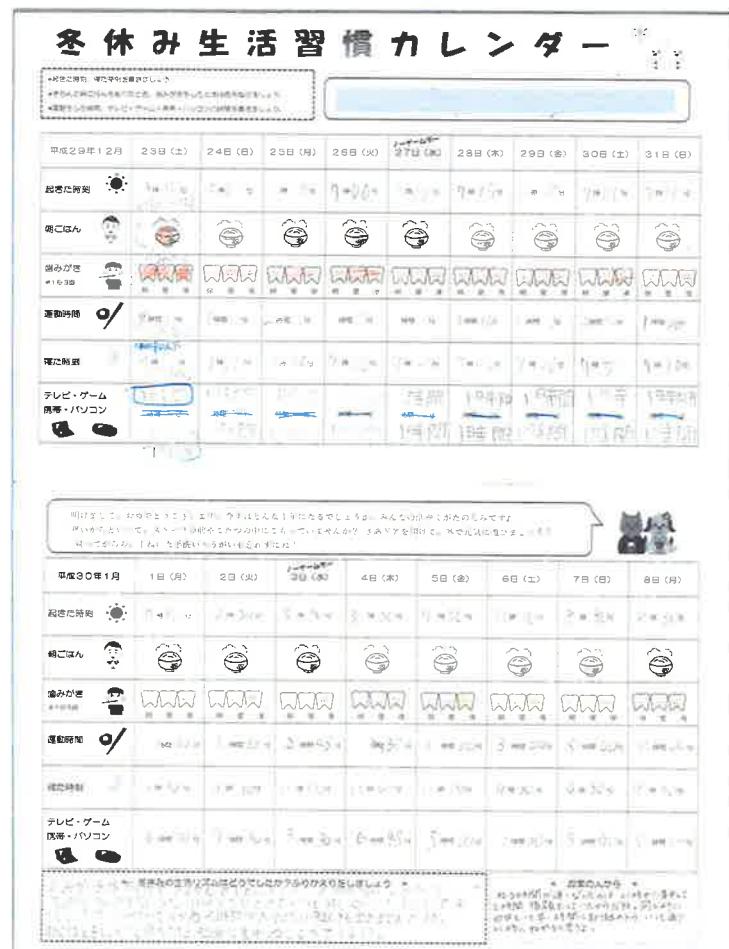
11月19日錦ふるさと祭り生涯学習展



エ ノーゲームデー・チャレンジカード

夏休みにこの取組が活かされるよう、PTA作成の「ノーゲームデー・チェックカード」を「夏休み生活習慣カレンダー」とともに配布し、規則正しい生活習慣が身に付くよう注意を喚起した。

冬休みには、「生活習慣コントロールチャレンジ」により、子どもたちに望ましい生活習慣が形成されるよう、各家庭で生活の点検を行った。



(3) 学校支援その他の取組

① 「すぐルーム」の活用と運営支援

昨年度の9月、保護者や地域の方が気ままに集まり、時には教職員と語り合える「すぐルーム」(コミュニティルーム)を開設した。PTAでは、地域とともにある学校づくりを後押しするため、コーヒーや紅茶がいつでも飲めるよう準備をしている。

この部屋を利用する際には、子どもたちの様子を見ていただき、授業評価アンケートに記入してもらったり、時には一緒に授業を受けていただいたりすることもお勧めしている。

② 餅つき支援[11月30日(木) 13:30~15:30]

5年生は、総合学習の時間に田植え・稲刈り・餅つき・注連飾りづくりを体験することになっている。

10月に収穫した餅米は、餅つきに使われる。餅つき名人のお年寄り3人が餅米の蒸らしやつきたての餅切りを、保護者8人がつき手と餅丸めなどを手伝った。丸めた餅は、二つずつ袋に入れて300袋を用意した。

これらの餅は、12月2日の錦町小中学校持久走大会・交流会で、地域の方や宇佐川小学校の子どもたちにも配られた。

(7ページ参照)



7月7日:ランチルームにて

錦町民生児童委員協議会



「すぐルーム」で一休み



11月30日:餅つき



12月19日しめ縄づくり

6月15日:「えがおコンサートⅠ」



10月16日:「えがおコンサートⅡ」

～歌とピアノとおしゃべりと～



④ 運動会 [9月18日(月) 9:00~]

ア 会場準備・片付け

台風18号接近・通過のため2日延期となった。スローガンは、「最後まで力を合わせて優勝だ」。会場準備は当日の7:30から行い、PTAは「始めから力を合わせて」予定通り開会式を9:00に開始することができた。

イ 錦町音頭

7月20日(木)に、「虹の会」の山本さん、広森さん、山田さんと太鼓の松井さん、音頭とりの光貞さんらに錦町音頭のご指導を受けた。



7月20日:錦町音頭の練習

午前の部プログラムの最後は、錦町音頭を児童・保護者・地域の方々のみんなで踊った。年々踊りがうまくなっている。また、多くの人の参加があり笑顔の輪は二重となった。



みんなで錦町音頭

ウ 親子競技

親子競技は、保健部が準備して運営する。1~3年は手を使わず親子でボールを運ぶ「ボール運びペア」、4~6年は親子2人3脚でパンを取ってゴールする「ジャ・パーン！？」を真剣な顔、苦笑いの顔、大笑い顔で、大人は特に楽しんだ。



「ボール運びペア」



「ジャ・パーン！」

エ 募金の呼びかけ

運動会の会場で、九州北部豪雨災害支援の募金を呼びかけた。6,359円を県PTA連合会に振り込んだ。

⑤ 親子レクリエーション [5月19日(金) 14:50~]

親と子、保護者と教職員、子どもと先生の親睦を深めるため、PTA保健部が親子レクリエーションを企画運営した。内容は、1~3年生とその保護者はドッジビー、4~6年生とその保護者はドッジボールで、親子対抗で行った。

体育館いっぱいに響き渡る歓声と拍手。親も子も本気になって楽しめた。



⑥ 避難訓練(防犯) [6月7日(水)]

学校で行われた防犯教室を参観した後、刺股で不審者を取り押さえる指導を受けた。(指導: 広瀬幹部交番)



不審者を取り押さえる

⑦ 夏休みプール開放

夏休みに子どもたちが水泳を楽しめるよう7月24日から8月10日(休日祝祭日を除く)の14日間、小学校のプールを開放してもらっている。

水質の管理は学校で行ってもらい、子どもたちの監視は当番を決め4人の保護者が行った。

万が一に備え、6月には救急蘇生法の講習会を行い保護者と6年生が参加した。



6月6日: 救急蘇生法講習会

⑧ 夏休みラジオ体操の取組

毎朝地域で行われるラジオ体操に、夏休みの間子どもたちも参加できるよう、「岩国市健康づくりいきいき・わくわく・にっこり錦地域部会」にラジオ体操講習会をお願いした。

11月の「にしきふるさとまつり」で「錦地域部会」の方と一緒に子どもたち45名がラジオ体操を披露した。



7月12日: ラジオ体操講習会



11月19日: にしきふるさと祭り

⑨ あいさつ運動

平成26年5月から、地域の連帯感を高め、子どもたちの思いやりの心を育み、豊かな人間関係を一層深めるため、「あいさつ運動」を行っている。錦地域協育ネット協議会でも錦町全体に呼びかけを行っている。

「あいさつ運動」は毎月第2火曜日とし、場所は山口銀行前・桜木交差点・錦中学校入口のほか自宅前などできるところで行っている。この活動を通して、あいさつで子どもたちの思いやりの心を育むとともに、子どもたちの元気なあいさつで、錦町が一層心の通い合う地域になればと願っている。



12月22日: 校長サンタもあいさつ



4月11日: 山口銀行前

⑩ 学校ウェブページの活用

PTA活動の後に原稿を学校に提供し、ウェブページで活動を紹介している。

トップ > カテゴリ
トップ 教育方針 校長室 教育活動 学校紹介 PTA 地域 アクセス

PTA

[校長より]

さまざまな場面で申し上げていますが、学校は「地域とともにある」ものだと考えています。今、「地域の核」としての学校が全国的に求められています。何より新しい考え方ではなく、たとえば本校でも「体育館や運動場を地域に開放」しています。だから学校は「児童だけのもの」にしてや「教職員だけのもの」ではなく、「地域みんなのもの」なのです。ですからあえて、校長として感謝の言葉の「ありがとう」ではなく、共に力をねぎらう「お疲れ様」と申し上げたいのです。これからも「地域とともにある学校」を目指し、いろいろな取組をしていきます。どうかご一緒に、児童・教職員・保護者・地域が共に「諏訪小学校」を作りていきましょう。ご協力をお願いします。

時代は**ギブ アンド テイク**から**双赢**へそして、**トウギャザア**(一輪に)です。

Copyright © 諏訪小学校 All rights reserved.

PTAトップページ

PTA(2学期) | 美顔あふれる学校 諏訪小学校

Page 1 of 1
2018/10/12 13:45:17 (日本時間)

TOP ホーム カテゴリ リンク

TOP 教育方針 校長室 教育活動 学校紹介 PTA 地域 アクセス

29 PTA (2学期)

晴天止人会盛り上げ祭 (PTA)

このイベントは、諏訪小学校の生徒たちが手作りの工作品や手作りの料理などを販売するイベントです。主に保護者や地域の人々が来場して、手作りの工作品や手作りの料理などを購入することができます。また、手作りの工作品や手作りの料理などを販売するイベントです。また、手作りの工作品や手作りの料理などを販売するイベントです。



父ちゃんお母ちゃんおんせん誕生日会「愛媛県」

このイベントは、父ちゃんお母ちゃんおんせん誕生日会「愛媛県」です。このイベントは、父ちゃんお母ちゃんおんせん誕生日会「愛媛県」です。このイベントは、父ちゃんお母ちゃんおんせん誕生日会「愛媛県」です。



PTA2学期行事

2018/10/12

5 成果と課題

(1) 成果

ア 学校教育への参画意識の高まり

子どもたちの指導について、生活のきまりを保護者の立場で見直すことができ、学校との共通理解が一層図られた。



今年は差し入れの菓子がよけえあるぞ

昨年度に比べ、「錦町小学校持久走大会・交流会」など行事の協力者が増えた。また、炊き出しの作業手順や交流会の持ち方、運動会の繰り出しなど改善策が提案され、行事運営に活かされた。

イ 学校支援の質的・量的充実

学校来校者や学習支援者が増加し、餅つき作業や家庭科でのミシン操作など多くの場面で子どもへの指導が充実した。



ウ 学校課題の把握

近い将来避けられない複式学級化について考える機会や、生活習慣の改善について学習機会を設けたことで、学校課題だけでなく子どもや家庭の課題についても気づかされ、新たな視点で子どもの教育や家庭生活を見直すきっかけになった。

(2) 課題

ア 課題の共有

今年度は、学校課題について考えることができたが、今後、子どもたちに身につけたい力や引き継いでほしいことを家庭・学校・地域が共有し、総がかりで子どもを育てる意識を一層高めたい。



イ 世代間の格差

子どもたちは、自然豊かな錦町に住んで四季の折々の趣を感じているだろうか。錦町に伝わる伝統や文化をより良く引き継いでいるだろうか。

高齢・核家族化や情報機器の発達などにより、子どもと大人、保護者と地域の世代間には大きな差が生じてきている。

ウ 地域教育力を巻き込む

この世代の格差を縮めるために、どのように地域を巻き込むか。その知恵を出すのも P T A の役割の一つではなかろうか。

